

129 B 2
(132 A 2)

特 許 庁

実用新案出願公告

実用新案公報

昭29-7564

公告 昭 29.7.3 出願 昭 28.6.12 実願 昭 28-17082

出願人 考案者 小 笠 原 ユ ウ 東京都杉並区天沼3の658
代理人 弁理士 大 嶺 俊 介

(全1頁)

紙 製 蓋 付 コ ッ プ

図 面 の 略 解

第1図は本案の蓋及コップの正面図、第2図は蓋をコップに被せた本案の縦断面図である。

実用新案の性質、作用及効果の要領

従来アイスクリーム又は之れに類似の半流体食品の容器としての紙製コップの蓋は一般にコップの口に1枚の円形紙片を嵌着するだけのものではあつたが、之れでは口縁に塵埃や保菌物が附着し著しく非衛生的であつた。

本案は之等の欠点に鑑み、衛生的で且取扱便利なものに改良されたものである。即ち底7を有する蓋1を皿状に造り上端を外方に巻いて巻縁3を形成せしめ、中腹周囲に雄型的作用をなす環状凹溝4が刻設されている。之に対し底6を有し該蓋の径よりも少しく大きな口径のコップ2の上部に上端から一定の距離、即ち蓋1の凹溝4から巻縁3の巻込内面までの距離に等しい距離の所に上縁に平行に雄型的作用をなす環状凹溝5が刻設されている。該凹溝の深さは蓋の凹溝4が之れに重合する

程度のものである事が必要である。

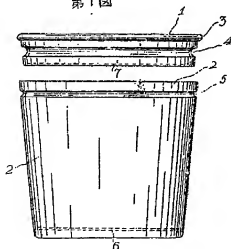
之を使用するに内容品をコップ2に容れ、蓋1を上方からコップの口に押込み両凹溝4及5を完全に重合せしめて蓋をコップに固定し、同時にコップ口端は蓋の巻縁3の巻込内面に接触し該巻縁で完全に被覆されるから外部からの有害物に侵される事は絶対に避ける事が出来る。

加ふるに蓋の嵌着又は取外しは敢て力を要せず指先で容易に之をなし得る等幾多の効果を有するものである。

登 録 試 求 の 範 囲

図面に示す如く、外方巻縁3を有する皿形蓋1の中腹周囲に凹溝4を刻設し、之れに対するコップの上端近くに蓋の凹溝4が完全に重合し得る深さの凹溝5を刻設し、以て該蓋がコップの内面に両凹溝4及5の重合によつて固定せられ同時にコップ口端が蓋の巻縁3で被覆される様にした紙製蓋付コップの構造。

第1図



第2図

